

大仙市のロータリー会員有志

# タイの学校へ机、椅子寄贈

## 483組、昨年に続き2回目

大仙市で社会奉仕に取り組むロータリークラブ(RC)の会員有志が、同市などの小中学校で不要になった机と椅子483組をタイ東北部の学校に贈った。昨年に続き2回目で、今後も取り組む予定。学用品が不足しているタイ農村部の学校を支援しようとして、大曲RC会員で貿易会社

社長の佐々木正光さん(68)同市刈和野IIが発起人となつて活動している。昨年はタイ中部のチャイナート県へ328組を贈った。今回の送り先は、首都バンコクの北約600キロにある農村部のコーンケン県とウドンタニ県。都市部に比べて教育環境が整わず、同じ椅子と机

を数十年使い続けている学校もあるという。

大仙市と美郷町で買い替えなどのため使わなくなった椅子と机をコンテナに詰め、8月に秋田港から船で発送し

た。積み込み作業はRC会員や西仙北高校の生徒が行った。現地のRCを通じ、11月までに小中学校や幼稚園など20カ所に振り分けた。寄贈先の各学校を視察した



贈られた机と椅子を使うタイ・コーンケン県の児童(佐々木さん提供)

佐々木さんは「タイの子どもたちはとても喜んでくれた。まだまだ使える机と椅子を活用してもらおうことで、タイの人材育成にもつなげたい」と話した。今後、も自治体と呼び掛けて必要な椅子などを引き取る考え。

(佐藤辰)